

2020年12月26日
箱根登山鉄道株式会社

車掌不乗による列車運行について

箱根登山鉄道株式会社（本社：神奈川県小田原市 社長：抱山洋之）では、本日12月26日（土）車掌を駅に残したまま列車が発車、運行する事態が発生いたしました。ご利用のお客さまにはご迷惑をお掛けいたしましたことを深くお詫び申し上げますとともに、今後の再発防止に努めてまいります。

なお、詳細については下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 発生日時 2020年12月26日（土）15時56分頃
2. 列車 客第473列車 箱根湯本駅15時39分発強羅駅行
（大平台駅15時55分発）
3. 場所 箱根登山線 大平台駅（住所：箱根町大平台大向355）
【不乗区間 大平台駅～上大平台信号場間 約500メートル】
4. 原因 運転士が出発合図を受けたと思い込み列車を発車させたもの
5. 概況 当該列車は大平台駅に定時に到着した。スイッチバックのため運転室を変更し、大平台駅では運転士が閉扉作業をすることになっているため、信号現示および車掌の閉扉合図を確認し閉扉した。
その後、運転士は車掌から出発合図を受けたものと思い込み列車を発車させた。車掌は閉扉確認後、乗務員室に入ろうと乗務員室扉を解錠しようとしたが、解錠に手間取り列車に乗り込めずにいたところ、列車が発車し大平台駅に取り残された。当該列車には、約100名のお客さまがご乗車されていた。当該車掌は次の上大平台信号場まで徒歩で移動し当該列車に乗務した。
当該列車は、上大平台信号場を約5分遅れて発車し、強羅駅に1分遅れで到着した。
6. 再発防止策 全乗務員に本件を周知し、基本動作の励行を徹底し再発防止に努めます。

以上